

大分教区少年連盟通信

あそぼ

第 8 号
2007年3月30日
大分教区少年連盟発行

大分教区 『子どもの集い』に参加して

大野組 尊形寺

流 智 道



二〇〇六年七月八日に二年に一度の『子どもの集い』が開催されました。当日は、残念ながら前日の雨の影響で当初予定していたかんぼの郷が使えず、宇佐市の四日市別院に会場が変更となりました。しかし、雨にも負けず！県内各地から約九〇名の子も達が参加してくれました。午前十時過ぎから開会式が始まり、皆でおつとめをしご法話があ

りました。阿弥陀様の願いの話に子ども達は真剣に耳を傾けていました。

開会式が終わってから拍手ゲームやじゃんけんゲームなどのゲームをしました。終わって昼食に移り、本堂のお縁でみんな一緒に美味しいお弁当を頂きました。

午後からの第一発目のゲームは写真に写った場所がどこにあるか探すゲーム。柱や灯籠、喚鐘など、子ども達は知恵を絞り、一生懸命、本堂をくまなく探していました。それが終わったら待ちに待った紙飛行機製作。スタッフから説明があり、材料と作り方が配られ班ごとに分かれ、いざ製作開始！スタッフの方が待ちに待っていたのかと思うくらい大人も熱中し、全員が黙々と飛行機作りに励み、それぞれに色、形の違った自分だけのオリジナル飛行機が出来上がりました。すぐに落ちてしまう飛行機やグルグル回るだけで前に進まない飛行機など様々でしたが、子ども達はどうしたらうまく飛ぶのかを考え、試行錯誤しながらあれこれ工夫を凝らしてしま



そして班対抗の紙飛行機コンテスト！一番遠くまで飛ばしたのはスタッフでした(笑)最後に班対抗の風船ゲームや新聞紙ゲームで盛り上がり、子ども達の笑い声、叫び声が四日市別院の本堂に響き渡る

一日となりました。そして閉会式で恩徳讃を唱和して阿弥陀様に御礼を申し解散しました。作る楽しさ、考える楽しさ、協力し合うことの大切さを共に実感できた集いでありました。

少年教化アドバイザー研修会について

臼佐組西教寺 巖 龍 彰

今年度、本山からの要請があり、少年教化アドバイザー研修会に参加した。少年教化アドバイザーとは、平成二十三年度に迎える宗祖七五〇回大遠忌法要に合わせて、それまでに全寺院で子ども会活動(キッズ・サンガ)をしてもらうためのアドバイザーを育成する研修会のこと。この研修会終了後、各教区から選出されたアドバイザーは、来年度から地元教区で全寺院が子ども会活動を行うためのサポートをしていくことになる。

今年度のアドバイザー研修会は、二〇〇六年六月十四日(十六日)と十月十一日(十三日)の二回開催され、研修内容は主に子ども会活動をするために必要と思われるゲームやカウンセリング等が中心となったプログラムだった。

しかし、研修会では、今回

この研修会が有意義なものかどうかという意見も出た。ゲームの研修も必要だが、この活動が少年連盟中心ではなく基幹運動の方で行うべきではないか、本山ももっと協力体制をとってほしいといった意見や、帰ってからどこに連絡してどうやって全寺院に活

動を促せば良いのかという具体的な方法を研修会で示して欲しかったという意見が出た。キッズ・サンガは、来年度から早速始まることになるが、大分教区でも少年連盟と各寺院の積極的な協力が欲しいところである。

2006年夏期子ども会巡回会所一覧

実施日	会場寺院
7月21日	臼佐組西教寺
7月24日	大海組長光寺
7月25日	臼佐組安養寺
7月28日	大野組尊形寺
7月29日	宇佐組西光寺
8月1日	四日市別院
8月4日	豊後高田組興隆寺
8月5日	中津組光楽寺
8月7日	大海組光国寺
8月17日	速見組浄専寺
8月18日	大海組真光寺(台風で中止)
8月21日	中津組明蓮寺・西蓮寺
8月22日	大海組教尊寺
8月23日	国東中組教円寺
8月24日	院内組西寶寺

※上記の他、保育園にも四園行きました

大分教区少年連盟2007年度活動計画(案)

1 スローガン

「子どもの声が聞こえるお寺に」

2 活動方針

宗門の基幹運動に基づき、自他のいのちを大切に、み仏を敬う少年を育成するために全寺院に少年教化活動の促進をはかる。

3 重点目標

- ・組織の充実……単位会と教区連盟とのつながりを図る
- ・少年教化の拡充……(まどけの子の育成と未登録寺院への働きかけ)
- ・キッズサンガ(全寺院「子どものつどい」計画)への協力
- ・人材の育成……本山の研修会への人材の派遣、巡回を中心とした教区内指導者の発掘、教区指導者研修会の実施
- ・教材の開発……巡回における影絵、人形劇等
- ・広報活動の充実……通信「あそぼ」の発行

土曜学校へ行こう！⑤

大海組 長光寺

(編) 今回は大海組の長光寺をご紹介します。まず、月に何回子ども会をされていますか。

(長) 学校が完全週休二日になつてからは、月一回、第三土曜日に開催しています。

(編) どのような日程ですか。

(長) 朝八時の晨朝勤行(お朝事)からお参りしてもらいます。「正信偈」「御文章」・法話と続きます。



れますので、寺族・法務員も合わせると二十人ほどになります。ですから子ども会の日は三十人以上、多いときには四十人ほどになります。

(編) にぎやかでしょつね。

(長) そうですね。子どもたちは大きな声で唱和してくれます。

できます。朝ご飯といつても、おみそ汁とふりかけご飯だけです。各自が好きなふりかけご飯をラップでくるんで、おむすびを作っていました。

(編) 楽しそうですね。

(長) はい。おみそ汁は五杯飲む子もいます。朝食が終わると、勉強タイムです。一人一つずつ宿題を持ってきて取り組みます。忘れた子には百マス計算や漢字などのプリントを渡して勉強してもらいます。

(編) 勉強タイムがあると、親も安心して子どもを参加させられそうですね。

(長) そうあって欲しいと思っています。下級生に上級生が教えてあげたりするような関係が期待しています。宿題が終わると自由時間です。大きなボールで遊んだり、鬼ごっこをしたり、子どもたちは自由に遊びますが、最近は外遊びをあまりしなくなったのが気になります。



(編) 何時ぐらいに終わるのですか。

(長) 十時過ぎにおやつの間にして、「恩徳讃」などを歌って十時半ぐらいに閉会するようにしていますが、十一時を過ぎる時もあります。

(編) 通常の子ども会以外にはどんな行事がありますか。

(長) 花まつり白象行進と降誕会アトラクション出演、それと夏休みの一泊子ども会があります。特にお寺の本堂に泊まる経験は、子どもとお寺の距離が縮まると思います。本山もキッズサンガに取り組むようですが、どこのお寺でも子どもが泊まる会は是非企画して欲しいと思います。

(編) 取材へのご協力、ありがとうございました。

少年連盟からのメッセージ 「死にたいと思っっている君へ」

お願い。

死んじゃダメだ、絶対に。

親は「子どものことを心配するために存在する」ものだから、
どんどん心配かけたらいい。

親に心配一つかけない「良い子」
になんかならなくてもいい。

一番辛いこと、口にして恥ずかしいことを親に言ってみてごらん。

もし、親に言えないのなら

親戚のおじさんでもおばさんでも、
近所のおじさんでもおばさんでも、
だれか大人に話してごらん。

(中略)

もう一度、お願い。

死んじゃダメだ、絶対に。

少年教化寺族女性研修会に参加して

大野組尊形寺 流 恵美

初めて参加させて頂いた今回の研修。二〇〇六年七月五日から六日にかけて、日曜学校について私達は各々の現状、悩み、今後のあり方等を話し合いました。

まず、子ども達には日曜学校を通じて、又、お念仏を通じて大切な“心”が育って欲しいと思います。共に生きて

ゆく中で、支え合い生かされていることを知り、感謝の心が生まれます。どんなときもその心を忘れずに、又、“南無阿弥陀仏”とお念仏する心を忘れずに、尊い命は強くたくましく生きつづけて欲しいと思います。そして日曜学校での思い出はいつまでも子ども達の心と共に“帰る場所”

であって欲しいと願います。又、育ち合う場所であり続けて欲しいと思います。全国から集まった寺族の方々と一緒に、語り合い、気づきや絆を感じ合えたこと、すべてがとても貴重な経験となりました。本当に良いご縁を頂きました。ありがとうございました。

編集後記

あそぼ第八号をお届けします。上に掲載した少年連盟からのメッセージの全文は、少年連盟のホームページで読む事ができます。昨秋、いじめ自殺が相次いだことを受けて掲載されました。

世の中全体が殺伐としている中で、子どもたちが安心して過ごすことのできる場が求められています。お寺がその役目を果たすことができれば一番良いのですが……。

2007年度大分教区少年連盟 指導者研修会のご案内

- ◆期 日：6月23日(土) 9時～16時
- ◆会 場：本願寺派別府別院
- ◆講 師：中 島 宏 氏
- ◆内 容：さまざまなシチュエーションに応じたゲームの仕方をご指導いただく予定です。詳細が決まりましたらご案内申し上げます。